

第2回厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議 会議録

会議主管課	市街地整備課
会議開催日時	令和3年11月8日(月)午後2時～午後4時
会議開催場所	厚木市役所第2庁舎16階会議室B
出席者	委員 11人 (欠席：中野委員) 事務局 都市整備部市街地整備担当部長、 市街地整備課中町第2-2地区整備担当課長、 同部同課 副主幹兼中町第2-2地区整備係長、 同部同課同係技師 (受託者：日建設計シビル 2人) 傍聴人 1人
公開日	令和3年11月16日(火)

会議内容は、次のとおりです。

1 開会

委員長	ただ今から第2回厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議を開催します。
事務局	傍聴人について、「厚木市本厚木駅周辺まちづくり推進会議の会議等の公開に関する要綱」では、傍聴人の定員を5人としていますが、現在傍聴希望者が1人おります。
委員長	傍聴希望者を受け入れてよろしいか。
委員	異議なし
委員長	それでは傍聴人の入場をお願いします。

2 案件

(1) まちのポテンシャルについて

委員長	案件(1)について説明をお願いします。
事務局	案件(1)資料1を説明
委員	ワークショップを傍聴して、相模川を重要な資源として捉える視点と休憩できる場所・ベンチの設置に関する気づきがあった。休憩施設は、設置するだけでなく、メンテナンスが重要である。目標をきちんと定め、持続可能な取組となるよう維持管理の仕組みを検討していただきたい。中心市街地の全体構想で掲げられている、川との関係づくりなども再び着目してほしい。
委員	分譲マンションが駅周辺に増えているが、南口のマンションも含めて、そういった住宅をつくることは活性化につながっていないと思う。活性化につながるような、商業ビルを開発する方向で検討を

	<p>していただきたい。それらが、まちの活性化の一助になるはずなので、提言に入れたい。</p> <p>また、住宅開発されているが、市内郊外からの移住が多く、市の人口は増えていない。そのため、マンションではなく、商業ビルが必要と考える。</p>
事務局	<p>都市機能として商業機能を誘導することは、上位計画であるコンパクト・プラス・ネットワーク推進計画でも掲げている。日本の人口は減少傾向であるため、商業や福祉施設、病院が点在すればまち全体のコストは上がっていく。持続可能な都市づくりを考えると交通利便性の高い中心市街地へ都市機能を集中させることが全国的な潮流であり、本市もその方針である。商業施設の誘導に関して、うまく行っていない点は、今後民間事業者等とすり合わせを行いたい。</p>
委員	<p>まちなかのゾーン設定や歩いて楽しいまちをつくらうということは分かるが、現状からかけ離れすぎるのはよくない。</p>
委員	<p>ウォークアブルなまちづくりというのはどういう意味・意図か。</p>
事務局	<p>まちなかを車中心から歩行者中心の空間へ変えていき、まちなかで過ごすことができるまちづくりを指している。</p>
委員	<p>本厚木駅北口周辺の再開発について、計画が示されていないため、検討エリア内にある既存商業ビルのテナントが心配している。再開発に関するスケジュールを示していただきたい。</p>
事務局	<p>本厚木駅北口周辺の再開発については、10月21日に準備組合が発足されたばかりであり、具体的な検討はこれからである。一般的な事例を鑑みても、完成までに10年程はかかると思われる。本計画で、再開発のスケジュールを示すことは難しいが、本厚木駅周辺の公共空間の目指す姿は示していきたい。</p>
委員	<p>事務局案のまちの強みについては、私も賛同できる。しかし、それらの強みが強みとして発揮されていない。歩行者の視点から強みの質・クオリティを上げていく必要がある。例えば、単に座る場所を増やすのではなく、座りたくなる場所にしなければいけない。公園がきちんと魅力的になっているか、一つ一つの公共空間の居心地のレベルが高いかが重要である。</p> <p>まちなか居住が増えることは街にとって良いが、マンションの乱立で日照等の住環境が悪化する恐れがある。高さや容積率など、本厚木独自のまちなか居住のあり方を考えられると良い。</p> <p>歩行者中心のまちづくりに関して、アミューあつぎのsolaの居心地の良さや非日常のにぎわいは素晴らしい。それらを日常のにぎわいにどう落とし込むか検討が必要である。</p> <p>昼夜間人口比率の高さから言えるもう1つのまちの強みとして、名だたる企業の研究所や工場の存在がある。企業関係者がまちを通過するだけでなく、企業の技術展示によるまちづくりも視野に入れていただきたい。</p>

	<p>本厚木駅が大山と相模川の大自然に囲まれていることを認識すると、まちの印象が変わるため、そういった厚木の自然的資源や魅力をまちなかで感じられる場があると良い。</p> <p>まちに歴史があることもポテンシャルや強みとして考えるべきではないか。宿場町や芸者のいた名残、相模川の渡しや宿場町など、市民の方にも歴史があることを理解いただいた方が良い。これはまちに対する愛着にもつながる。</p>
委員	<p>sola に行く際、本当はバスで行くべきだが、ベビーカーがあるとバスに乗りにくいいため、自動車で行ってしまう。バスに乗りやすくなれば、駐車料金を気にせず、まちなかで過ごせる。</p> <p>自転車と混在していて、歩きにくい道路がある。自動車と自転車が混在している道路では、雨の日に路肩や集水桝が滑りやすいため、自転車では走りたくない。道路の幅に限界があるので、難しいとは思いますが自転車や車いすへの配慮が必要である。</p>
委員	<p>現在路線バスでは、ベビーカーは折り畳まずに乗車いただけるようになっている。ノンステップバスは全車導入に至っていないため、そこは課題として認識している。ノンステップバスの導入は引き続き努力したい。</p> <p>自転車については、単に歩行者との錯綜を避けるためだけに車道を走らせることは危険である。歩行者、自転車、自動車のすみ分けをしっかりと行っていく必要がある。</p>
委員	<p>コロナを経て、商業やまちなか居住、ライフスタイルの在り方はかなり変化してきており、ニューノーマルを見据えた計画づくりを意識すべきである。将来どうなるかは誰にも分からないが、そうした視点での議論が本会議の委員にも求められる。社会状況を反映できるように、事務局には可能な限り、専門家の知見などを集めていただきたい。</p>
事務局	<p>社会状況については引続き調査する。</p>

(2) 目指すまちの姿について

委員長	<p>案件(2)について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>案件(2)資料2を説明</p>
委員	<p>目的に対して、目標がある。目標に対して、いつまでにどのような取組をするかを示していただいた方が意見しやすい。どこで何をするのかが分からない。計画策定後の進捗具合も分かりにくい。</p> <p>歩きやすさと歩いて楽しいは相反する可能性もある。</p>
事務局	<p>本日は、目指すまちの姿について、御意見をいただきたいため、抽象的な内容となっている。この内容で皆様に御了解をいただければ、次回具体的な取組を示すことになる。</p>
委員	<p>目指すまちの姿に、人がどのように過ごしたら楽しいかという視</p>

	<p>点が入っていない。場所に人が合わせるのではなく、人がしたいことに場所を合わせていく必要がある。私自身もそうであるが、作った人の顔が見えるコンテンツに、人は興味や関心を持ち、他人とのつながりが生まれることで楽しいと感じる。色々な人達が自由に活動できる場所があると、人が集まるきっかけになると思う。</p>
事務局	<p>現在、市民の方々とのワークショップを並行して行っている。ワークショップでは、まちなかでしたいコトや過ごし方について議論をしていただく予定なので、今後、ワークショップの成果も踏まえて、目指すまちの姿に、人がどう過ごすかという視点を反映したい。</p>
委員	<p>目指すまちの姿のイメージを見ると、2つの交通結節点と厚木中央公園の3つを結んでいるように見えるが、ゾーニングでは厚木中央公園の位置付けが分かりにくい。厚木中央公園は重要な資源であるため、役割をきちんと持たせた方が良い。厚木中央公園や交通結節点をつなぐネットワークとしての道についても、公園の位置付けを検討した上で議論すべきである。</p> <p>豊島区の南池袋公園も大きなリニューアルを経て、現在非常ににぎわっている。厚木中央公園のリニューアルについても、人が集まるような魅力的な公園のビジョンが必要である。</p>
委員	<p>厚木中央公園はコロナ禍でイベントが行われていないが、屋台やフードトラックなどが出店しているときには、にぎわいがあった。地下に駐車場があるので、常に、何かイベントが行われていれば、それを目当てにまちなかを回遊する人も多くなるのではないか。</p>
委員	<p>計画の目的にある「厚木らしさ」には、まちの風景や歴史が該当すると思う。まちづくりにどう取り入れるか検討が必要である。</p>
委員	<p>キッチンカーで商売されている方の中には、実店舗を持つ前にトライアルで行っている方もいる。キッチンカーで成功された方を空き店舗に誘致できると良い。街中に出店いただけると、人々が回遊するきっかけになる。</p> <p>厚木の起業スクールを卒業した人々は、様々な取組でまちなかにファンを作っている。そうした人達もまちづくりに関わると良い。</p>
委員	<p>支え合いの場が、他のエリアに比べて、象徴的なものがないため、ストーリーやシーンが見えてこない。支え合いの場に厚木中央公園を取り入れるなどすれば、自転車や自動車利用者の重要な場になるかもしれない。支え合いの場を歩く人や利用する人が誰なのか見据えた上で、もう少し位置付けが明確になると良い。</p> <p>目指すまちの姿のイメージで結ばれているサブネットワークとまちの回廊が異なる印象を受ける。サブネットワークが、どの路線であるべきか改めて検討していただきたい。サブネットワークはどこを結ぶための動線なのかしっかり議論しておきたい。</p>
事務局	<p>厚木中央公園の位置付けも含めて、ゾーニングを再検討したい。資料2 P 3で示しているサブネットワークは、主要なまちの資源</p>

	同士を結ぶ動線であり、まちの回廊は具体的な位置として、それを地図上に落とし込んだものであるため、意味では同じである。
委員	さつき通りは支え合いの場として設定されているが、厚木バスセンター前の厚木なかちょう大通りの方も支え合いの場となりえないか。
委員長	厚木なかちょう大通りは、重要な通りであるが、交通のバランスも含めて慎重に検討しなければならない。
事務局	厚木バスセンター前の厚木なかちょう大通りは、人中心の駅前に位置付けている。 支え合いの場は、他のエリアを歩行者中心のエリアとして変えていく上で、まちなかにアクセスする自動車を捌く役割を担わせたいと考えている。
委員	支え合いの場が、自動車や自転車利用者にとって、どういった利用の仕方になるのか具体的に見えてくると良い。例えば、キッチンカー等が利用する場となることがあるかもしれない。
委員	コロナで、室内空間への閉そく感や拒否感が生まれつつあり、外部空間の重要性が高まっている。道路空間を、そういった用途にも利活用できるようになると良い。

3 その他

(1) 次回開催日程について

12月24日(金)10時から開催予定

(2) ワークショップについて

第2回11月27日(土)、第3回12月19日(日)開催予定

(3) 複合施設について

11月13日(土)ワークショップ「あつぎ過ごすラボミーティング」開催予定

(4) 北口周辺整備について

10月21日(木)本厚木駅北口地区市街地再開発準備組合発足

4 閉会

以上